

# PARNASSIUS

No. 35

## 目 次

洲本市における春のチョウについて.....	堀 田 久.....	1
カメムシの採集記録.....	前 川 和 昭.....	4
オオキンカメムシの死骸を採集.....	前 川 和 昭.....	7
12月にチャバネセセリを採集.....	堀 田 久.....	7
エビガラスズメの遅い羽化例.....	堀 田 久.....	7
北淡町浅野でマイコトラガを採集.....	登 日 邦 明.....	8

淡 路 昆 虫 研 究 会

ENTOMOLOGICAL ASSOCIATION OF AWAJI

HYOGO JAPAN

June 1989



# 洲本市における春のチョウについて

堀 田 久

筆者は、洲本市安乎町の自宅付近を中心として長年チョウの観察を続けてきたので、ここでは、春に成虫が出現するチョウについて、これまでの観察結果をまとめてみた。特に今年(1989年)の暖冬がどのように影響したか過去の記録と比較してみたので、普通種ばかりではあるが報告しておきたい。

1. ジャコウアゲハ *Atrophaneura alcinous* Klug  
通常4月下旬より見られる。最も早い記録は1977年4月23日(中川原町)である。
2. アオスジアゲハ *Graphium sarpedon* Linnaeus  
通常4月下旬より見られるが、夏型に比べて個体数は少ない。最も早い記録は1973年4月20日(安乎町)である。
3. キアゲハ *Papilio machaon* Linnaeus  
4月上旬より見られるが、春型は少ないようである。
4. ナミアゲハ *Papilio xuthus* Linnaeus  
早い年は3月下旬より見られるが、4月に入ってから出現することが多い。
5. モンキアゲハ *Papilio helenus* Linnaeus  
通常5月中旬より姿を見せるが、今年は5月5日に安乎町で確認している。
6. クロアゲハ *Papilio protenor* Cramer  
通常4月下旬より姿を見せるが、今年は4月12日に洲本市本町の市役所前で確認している。ただし、安乎町においては例年どおり、4月末になってから見られるようになった。
7. ナガサキアゲハ *Papilio memnon* Linnaeus  
通常5月中旬より姿を見せるが、今年は5月9日に安乎町で確認している。なお、ここ数年安乎町の筆者宅のミカン畑では、春型がかなり発生している。
8. カラスアゲハ *Papilio bianor* Cramer  
安乎町では4月下旬より見られるが、個体数は少ない。
9. モンキチョウ *Colias (Colias) erate* Esper  
3月下旬より姿が見られ、最も早い記録は1971年3月20日(安乎町)である。
10. キチョウ *Eurema (Terias) hecabe* Linnaeus  
越冬した個体は5月上旬までみられる。なお、安乎町における冬期の活動記録は、1972年1月23日、1987年1月3日、1987年2月11日、1989年1月10日である。

11. スジグロシロチョウ *Pieris (Artogeia) melete* Menetries  
通常4月上旬より姿を見せる。最も早い記録は1973年3月30日(安乎町)である。
12. モンシロチョウ *Pieris (Artogeia) rapa* Linnaeus  
通常3月に入ってから姿が見られ、2月の記録はすくなくかった。本年は明らかに暖冬の影響がみられ、安乎町北谷における第1化の発生状況は次の通りである。
- |           |              |
|-----------|--------------|
| 2月11日(1頭) | 3月21日(かなり多い) |
| 2月19日(1頭) | 4月9日(多い)     |
| 3月15日(数頭) | 5月5日(少ない)    |
13. ツマキチョウ *Anthocharis scolymus* Butler  
4月に入ってから見られるが、個体数はあまり多くない。最も早い記録は1989年4月2日である。
14. ムラサキシジミ *Narathura japonica* Murray  
越冬した個体が3月から4月に見られるが、極めて少ない。
15. コツバメ *Callophrys ferrea* Butler  
個体数は少なく、洲本市における筆者の記録は1977年4月30日(先山の中腹)のみである。
16. ベニシジミ *Lycaena phlaeas* Linnaeus  
3月20日前後から見られ、早い記録は1974年3月18日(安乎町)である。特例としては1987年1月3日(安乎町)の記録がある。
17. ヤマトシジミ *Pseudozizeeria maha* Kollar  
通常3月中旬より見られるが、暖かい年は次のように真冬でも活動している。  
1987年1月3日(安乎町)      1987年2月11日(安乎町)
18. ルリシジミ *Celastrina argiolus* Linnaeus  
3月下旬より見られ、4月に入ると個体数が急増する。最も早い記録は1947年3月19日(安乎町)である。
19. ツバメシジミ *Everes argiades* Pallas  
3月下旬より見られ、最も早い記録は1971年3月28日(安乎町)である。
20. ウラギンシジミ *Curetis acuta* Moore  
越冬個体は3月から4月にかけて活動するが、暖かい年は真冬でも活動する。1987年2月11日(安乎町) 1989年2月3日(安乎町)等の記録がある。
21. テングチョウ *Libythea celtis* Fuessly  
越冬個体は、3月から4月にかけて活動する。

22. アサギマダラ *Parantica sita* Kollar  
4月下旬より姿が見られ、最も早い記録は1977年4月23日(先山中腹)である。
23. ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius* Linnaeus  
4月下旬より出現し、最も早い記録は1989年4月21日(安乎町)である。
24. コミスジ *Neptis sappho* Pallas  
通常4月下旬より見られ、最も早い記録は1971年4月24日(安乎町)である。
25. キタテハ *Polygonia c-aureum* Linnaeus  
越冬個体は、3月下旬から4月にかけて活動する。
26. ルリタテハ *Kaniska canace* Linnaeus  
越冬個体は、3月下旬から4月にかけて活動する。
27. ヒオドシチョウ *Nymphalis xanthomelas* Denis & Schiffermuller  
越冬個体は、3月下旬から4月にかけて活動するが少ない。
28. ヒメアカタテハ *Cynthia cardui* Linnaeus  
本種の越冬については疑問点が多いが、成虫の最も早い記録は1947年3月31日(安乎町)である。
29. アカタテハ *Vanessa indica* Herbst  
越冬個体は3月下旬から4月にかけて活動するが、暖かい年には真冬でも姿を見せる。  
1989年1月10日(安乎町)等の記録がある。
30. ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus* Butler  
通常4月中旬から見られるようになるが、本年は安乎町において4月6日に確認している。
31. サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii* Menetries  
通常4月中旬から出現するが、本年は安乎町で、4月9日にみられた。
32. コジャノメ *Mycalesis francisca* Cramer  
5月上旬から姿を見せる。
33. ミヤマセセリ *Erynnis montanus* Bremer  
3月下旬から見られるが、個体数はあまり多くない。
34. コチャバネセセリ *Thoressa varia* Murray  
通常4月中旬から見られるが、本年は安乎町で、4月9日に確認している。

# カメムシの採集記録

前川和昭

1978年以降、島内で採集したものを報告します。尚、採集地未記入はすべて洲本市安乎であります。

- |         |               |  |                   |
|---------|---------------|--|-------------------|
| ツチカメムシ科 | 1. ツチカメムシ     | <i>Macroscytus japonensis</i> Scott      | 25. V. 1979       |
|         | 2. ヒメツチカメムシ   | <i>Geotomus pygmaeus</i> Dallas          | 9. V. 1979        |
|         | 3. ヨコツナツチカメムシ | <i>Adrisa magna</i> Uhler                | 20. V. 1987       |
| マルカメムシ科 | 1. マルカメムシ     | <i>Coptosoma punctissimum</i> Montandon  | X. 1978           |
| カメムシ科   | 1. ブチヒゲカメムシ   | <i>Dolycoris baccarum</i> Linne          | 9. X. 1978        |
|         | 2. アオクサカメムシ   | <i>Nezara antennata</i> Scott            | 10. X. 1978       |
|         | 3. アカスジキンカメムシ | <i>Poecilocoris lewisi</i> Distant       | 洲本市先山 3. VI. 1979 |
|         | 4. ヒメカメムシ     | <i>Rubiconia intermedia</i> Wolff        | 3. IV. 1979       |
|         | 5. シラホシカメムシ   | <i>Eysarcoris ventralis</i> Westwood     | 13. V. 1979       |
|         | 6. クサギカメムシ    | <i>Halyomorpha mista</i> Uhler           | 洲本市先山 20. V. 1979 |
|         | 7. アカスジカメムシ   | <i>Graphosoma rubrolineatum</i> Westwood | 3. VII. 1979      |
|         | 8. ウズラカメムシ    | <i>Aelia fieberi</i> Scott               | 27. V. 1979       |
|         | 9. ハナダカカメムシ   | <i>Dybowskyia reticulato</i> Dallas      | 1. VII. 1979      |

10. ノコギリカメムシ *Megymenum gracilicorne* Dallas  
洲本市先山 19. VII. 1979
11. エビイロカメムシ *Gonopsis affinis* Uhler  
24. VII. 1979
12. ナガメ *Eurydema rugosum* Motschulsky  
10. IV. 1980
13. イチモンジカメムシ *Piezodorus hybneri* Gmelin  
6. VIII. 1980
14. トゲカメムシ *Carbula humerigera* Uhler  
洲本市先山 6. IX. 1980
15. チャバネアオカメムシ *Plautia crossata stali* Scott  
24. VII. 1980
16. タマカメムシ *Sepontia aenea* Distant  
洲本市先山 8. V. 1982
17. ツマジロカメムシ *Menida violacea* Motschulsky  
南淡町諭鶴羽 14. VI. 1982
18. フタテンカメムシ *Laprius gastricus* Thunberg  
12. VIII. 1982
- ツノカメムシ科
1. アオモンツノカメムシ *Dichobothrium nubilum* Dallas  
XII. 1978
2. セアカツノカメムシ *Acanthosoma denticauda* Jakovlev  
北淡町常隆寺山 17. VIII. 1982
3. マルモンツノカメムシ *Sastragala scutellata* Scott  
13. XI. 1980
4. エサキモンキツノカメムシ *Sastragala esakii* Hasegawa  
28. VI. 1984
- ヘリカメムシ科
1. ホオズキヘリカメムシ *Acanthocoris sordidus* Thunberg  
19. X. 1978
2. アカヒメヘリカメムシ *Rhopalus maculatus* Fieber  
北淡町浅野 3. IV. 1979
3. ホシハラビロヘリカメムシ *Homoeocerus unipunctatus* Thunberg  
洲本市宇山 11. IV. 1979

4. ホソヘリカメムシ *Riptortus clavatus* Thunberg  
5. V. 1979
5. ホソハリカメムシ *Cletus punctiger* Dallas  
洲本市先山 16. X. 1979
6. キバラヘリカメムシ *Plinactus bicoloripes* Scott  
6. V. 1979
7. ツマキヘリカメムシ *Colpura opaca* Uhler  
12. V. 1979
8. クモヘリカメムシ *Leptocorixa corbetti* China  
津名町大町 16. IX. 1979
9. オオクモヘリカメムシ *Anacanthocoris stricornis* Scott  
16. X. 1979
10. オオヘリカメムシ *Molipteryx fuliginosa* Uhler  
南淡町論鶴羽山 14. VI. 1982
11. シロヘリカメムシ *Aenaria lewisi* Scott  
北淡町常隆寺山 3. V. 1983
- ナガカメムシ科 1. オオモンシロナガカメムシ *Metochus abbreviatus* Scott  
5. V. 1979
2. ジュウジナガカメムシ *Lygaeus cruciger* Motschulsky  
5. V. 1979
3. オオメナガカメムシ *Geocoris varius* Uhler  
24. IX. 1979
4. キベリヒョウタンナガカメムシ *Pachybrachius lateralis* Scott  
31. VIII. 1984
5. ダラスチャイロナガカメムシ *Lethaeus dallasi* Scott  
29. IX. 1984
- オオホシカメムシ科 1. ヒメホシカメムシ *Physopelta cincticollis* Stal  
1. VI. 1980
2. オオホシカメムシ *Physopelta gutta* Burmeister  
6. VIII. 1980
- ホシカメムシ科 1. フタモンホシカメムシ *Pyrrhocoris tibialis* Stal  
XI 1978

サシガメ科

1. ビロウドサシガメ *Ectrychotes andreae* Thunberg  
30. IV. 1979
2. シマサシガメ *Sphedanolestes impressicollis* Stal  
洲本市先山 3. VI. 1979
3. アカサシガメ *Cydnocoris russatus* Stal  
洲本市先山 20. V. 1979
4. アカシマサシガメ *Haematoloecha nigrorufa* Stal  
11. X. 1981
5. モモブトトビイロサシガメ *Oncocephalus femoratus* Reuter  
3. VII. 1982
6. キイロサシガメ *Sirthenea flavipes* Stal  
28. VI. 1985
7. トビイロサシガメ *Oncocephalus philippinus* Lethierry  
洲本市宇山 20. IX. 1984

マキバサシガメ科

1. ハネナガマキバサシガメ *Nabis stenoferus* Hsiao  
31. VII. 1984

ヒラタカメムシ科

1. ノコギリヒラタカメムシ *Aradus orientalis* Bergroth  
洲本市先山 29. IV. 1984

### オオキンカメムシの死骸を採集

1988, 10, 洲本市安乎浜海岸砂浜上で採集.

流れついた個体であるかも知れないが、一応報告しておく。(前川和昭)

### 12月にチャバネセセリを採集

1988年12月19日, 洲本市安乎町において, 新鮮なチャバネセセリ *Pelopidas mathias oberthueri* Evans を採集したので報告しておく.

(堀田 久)

### エビガラスズメの遅い羽化例

1988年11月2日, 洲本市安乎町において, 羽化直後のエビガラスズメ *Herse convolvuli* Linne を確認した. 蛹で越冬するはずの個体が, 何らかの原因で年内に羽化したものと思われる.

(堀田 久)

## 北淡町浅野でマイコトラガを採集

昨年4月に常隆寺山でマイコトラガ *Maikona jezoensis* を発見したことは既に報告したが(本誌 No. 34), 本年(1989)3月8日に竹田俊道氏と共に常隆寺山の北ほぼ1kmに位置する北淡町浅野の浅野公園を訪れた際、街燈の支柱に静止していた本種の♀を採集したので記録しておきたい。

Asano, Is. Awajishima, 1♀, 8. III. 1989 (K. Tobi leg.)

淡路島では本種は、洲本市中津川、厚浜、宇山、三熊山、三原町八木(登日, 1984, 本誌 No. 30)と南淡町阿万(藤平, 1987, 南淡の蛾)からこれまで記録されており、昨年の常隆寺の記録と合わせて、淡路島での産地は合計8ヵ所になる。

尚、標本は筆者が保管している。

(登日邦明)



マイコトラガ *Maikona jezoensis*  
(北淡町浅野にて) Photo: T. Takeda

## 編集後記

▽ 今回より本誌の編集を担当することになりました。予定より少しおくれましたが、35号をお届け致します。次号は今年の秋に発行する予定ですので、どしどし原稿をお寄せ下さるようお願い致します。

(H)

### PARNASSIUS No. 35

1989年6月10日印刷

1989年6月15日発行

編集者 堀田 久

発行所 淡路昆虫研究会

〒656-21 兵庫県津名郡津名町大町畑235 登日方

郵便振替 神戸 7-49591

印刷所 れいめい社

〒656 兵庫県洲本市本町5丁目1-24

